



# 物語の生まれるまち あびこ



市之瀬啓之校長



倉部俊治教育長



星野順一郎市長



古谷田奈月さん

校長 今の図書室は、図書委員のおかげもあり、たくさん子どもたちが集まって本を読んでいますね。

古谷田 今は中学生でもスマホを持っていて、たまたま電車の中で仕事帰りの人が時間泥棒的な感じでゲームをやっている。これが本だったら良いのにと感じています。湖北中は図書委員が頑張って、本を薦めてくれていて、本を読むことの楽しさを知ることができています。とても良いことだと思います。

校長 子どもたち同士で本を薦め合う、自然に人が集まるにぎやかな図書室です。子どもたちに本を読むことの大切さが少しでも根づくとうれしいと思います。

古谷田 図書室がにぎやかなのはいいですね。スマホはもちろんですけど、同時に本というものがみんなの日常の一部になればいいなと思います。

市長 市では、「めるへん文庫」といって、小学生から高校生までを対象に書く作品を募集し優秀な作品を集め本にしています。

教育長 今年度の応募はともかく、私も全部読みましたが、他の人に読んでもらいたいという気持ちが伝わってくる作品ばかりでした。今回は中学生の応募が一番多く、面白い作品を書くのも中学生が多かったですね。

古谷田 中学生の時に書くのも、読んで感じるものって、その時だけのものがあるから、書く機会があるのは、書きたいことがある子にとってはすごい良いことだと思います。

教育長 「めるへん文庫」で賞を取った子どもが、これは古谷田さんのような賞を取る小説家になってくれると良いなと思っています。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田さんのような小説家に

市長 市では、「めるへん文庫」といって、小学生から高校生までを対象に書く作品を募集し優秀な作品を集め本にしています。

教育長 今年度の応募はともかく、私も全部読みましたが、他の人に読んでもらいたいという気持ちが伝わってくる作品ばかりでした。今回は中学生の応募が一番多く、面白い作品を書くのも中学生が多かったですね。

古谷田 中学生の時に書くのも、読んで感じるものって、その時だけのものがあるから、書く機会があるのは、書きたいことがある子にとってはすごい良いことだと思います。

教育長 「めるへん文庫」で賞を取った子どもが、これは古谷田さんのような賞を取る小説家になってくれると良いなと思っています。



▲ポップ広告で盛り上がる古谷田さんと生徒

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。



▲湖北中学校教員用玄関

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

古谷田 『ジュンのための6つの小曲』で、教員用の玄関口のシーンが出てくるんですが、今日来た時に「あつ！ここのこたつだ！」って思っていました。湖北中を思い書いていたんです。

箱守 読んでいるときに自然と想像できました。

古谷田 芥川賞候補になった『風下の朱』(※3)は、ソフトボール部のグラウンドをそのままイメージしたんです。

高須 そのままですよね。読んでいて湖北中と似ているなって思いました。

市長 湖北中をイメージしながら読むと、納得できますね。

### 古谷田奈月さんプロフィール

昭和56(1981)年我孫子市生まれ。新木小学校、湖北中学校卒業。現在も市内在住、市内で執筆活動を行っている。

**主な作品**

2013年 『今年の贈り物』 第25回日本ファンタジーノベル大賞 ※『星の民のクリスマス』と改題しデビュー

2017年 『リリース』 第30回三島由紀夫賞候補、第34回織田作之助賞

2018年 『無限の玄』 第31回三島由紀夫賞  
『風下の朱』 第159回芥川龍之介賞候補  
『望むのは』 第17回センス・オブ・ジェンダー賞大賞

### 座談会を終えて 中学生たちへ

古谷田 一番好きなこと、夢中になれることがあれば、とことんやってほしい。本当にやりたいことに打ち込んでいくことは、将来必ず糧になるので自分の心に従って全力で取り組んでほしいですね。

市長 これからは自分の人生は、自分で決めていくことになりそうです。人に相談したり、たくさん本を読み、影響を受けながら、将来の目標に向かって頑張る、人に頼られる大人になってほしいと思います。ぜひ、学校新聞などを活用して、この座談会を友達に伝えてください。

(※1)『望むのは』 歳を取るのが怖い高校1年生の小春が、いろんな感情で心揺れながらも成長していく一年間を描く。

(※2)『ジュンのための6つの小曲』 14歳のジュンの世界は音楽にあふれている。音楽に導かれ、人々との出会いによって変化していくジュンの青春の物語。

(※3)『風下の朱』 中学高校の6年間、ソフトボールに打ち込み続けた梓が、大学で飛び込んだ世界は、女子野球部だった。登場人物が女性だけの物語。